

子規博特別講座 冬季子規塾

足立たば

短歌に託した子規の夢

明治三十一年、子規は歌論「歌よみに与ふる書」を発表し、

短歌革新に乗り出した。身体の自由がだんだんと奪われる中、

子規は「もし足が立つならば」という意味の「足立たば」で始まる八首の連作短歌を作る。

そこには、子規のどんな思いが込められていたのか。

子規が短歌に託した夢について迫る。



講師
三枝 昇之 氏（歌人、文芸評論家）

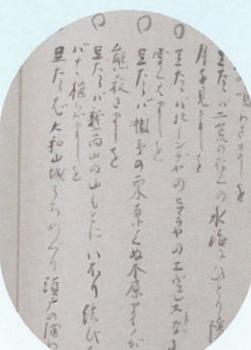
1944年、山梨県生まれ。高校時代に歌作をはじめ、
早稲田大学入学とともに「早稲田短歌会」に入会。

卒業後同人誌「反措定」に参加。1992年に歌誌「りとむ」を創刊、
現在発行人を務める。著書に「正岡子規からの手紙」（五柳書院）、
「昭和短歌の精神史」（本阿弥書店）などがあり、歌人や短歌史など幅広く研究に取り組む。

1978年に第22回現代歌人協会賞受賞。1998年に第3回寺山修司短歌賞、
2002年に第7回若山牧水賞、2006年に第4回日本歌人クラブ評論賞、
第56回芸術選奨文部科学大臣賞、第17回斎藤茂吉短歌文学賞、
第4回角川財団学芸賞を受賞。2009年、第32回現代短歌大賞受賞。

2011年、紫綬褒章を受章。2014年、日本歌人クラブ会長に就任。

山梨県立文学館館長、日本経済新聞歌壇欄選者、宮中歌会始の選者でもある。



子規歌稿「竹乃里歌」より「足立たば」連作



子規（明治31年）

平成27年2月21日（土）14時～15時30分

■場所 松山市立子規記念博物館 4階講堂

■主催

松山市教育委員会

（運営管理：子規記念博物館 指定管理者（株）レスバスコーポレーション）

■定員 400名（先着順）
■参加費 無料（事前申し込みが必要）
■申込方法

①～③の内容を、メール、FAX、お電話、「」来館にてお申込みください。
①氏名 ②電話番号 ③参加人数

【締切】平成27年2月15日（日）

【宛先】〒790-0857 松山市道後公園1-30 松山市立子規記念博物館「冬季子規塾」係
電話 089-931-5566、FAX 089-934-3416、メール sikihaku@lesp.co.jp



松山市立子規記念博物館

TEL 089-931-5566 〒790-0857 松山市道後公園1-30
指定管理者／株式会社レスバスコーポレーション <http://sikihaku.lesp.co.jp/>

*道後温泉駅より徒歩約5分/道後公園駅より徒歩約5分
*公共交通機関をご利用ください